

(2) 公営企業の経理の概況

水道事業会計	総収益	総費用	差引	一般会計からの補助負担金
(収益的収支)	3億7,939万円	3億3,728万円	4,211万円	1億1,500万円
(資本的収支)	3,509万円	2億4,991万円	△2億1,482万円	3,400万円
病院事業会計	総収益	総費用	差引	一般会計からの補助負担金
(収益的収支)	8億7,572万円	9億1,147万円	△3,575万円	6,939万円
(資本的収支)	1,878万円	2,766万円	△888万円	1,178万円

(3) 基金の状況(普通会計)

(消費税及び地方消費税抜き)

基金名	平成20年度末現在高	平成21年度取崩し額	平成21年度積立額	平成21年度末現在高
財政調整基金	4億1,159万円	0万円	1億4,991万円	5億6,150万円
減債基金	38万円	0万円	0万円	38万円
土地開発基金	2億1,488万円	0万円	52万円	2億1,540万円
	(うち現金1億7,395万円)	(うち現金0万円)	(うち現金52万円)	(うち現金1億7,447万円)
その他特定目的基金	10億879万円	4,296万円	2億3,725万円	12億307万円
合計	16億3,564万円	4,296万円	3億8,768万円	19億8,035万円

(4) 町債現在高

区分	平成20年度末現在高	平成21年度償還額	平成21年度借入額	平成21年度末現在高
一般会計	87億9,208万円	10億8,544万円	7億7,849万円	84億8,513万円
住宅新築資金等貸付特別会計	2,049万円	702万円	0万円	1,347万円
国民健康保険診療所特別会計	2,293万円	579万円	0万円	1,714万円
日吉簡易水道特別会計	3億4,143万円	2,107万円	0万円	3億2,036万円
農業集落排水事業特別会計	10億4,022万円	8,359万円	0万円	9億5,663万円
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	1億2,302万円	604万円	940万円	1億2,638万円
水道事業会計	38億7,387万円	2億1,199万円	0万円	36億6,188万円
病院事業会計	1億5,944万円	1,473万円	700万円	1億5,171万円
合計	143億7,348万円	14億3,567万円	7億9,489万円	137億3,270万円

平成21年度決算に基づく鬼北町財政健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政健全化に関する法律により財政健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

【健全化判断比率】

項目	説明	21年度	20年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	15.00	20.00
②連結実質赤字比率	全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	—	—	20.00	40.00
③実質公債費比率	一般会計等が負担する借金返済額(企業会計、一部事務組合を含む)が標準財政規模に占める割合	18.8	19.5	25.0	35.0
④将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき債務(企業会計、一部事務組合、地方公社・三セクを含む)標準財政規模に占める割合	133.1	151.4	350.0	

※標準財政規模とは、標準税収入額と普通交付税交付額及び臨時財政対策債発行可能額の合計をいいます。

健全化判断比率については、いずれも低いほど財政状況が健全であると言えます。

①、②とも黒字であったため、「数値なし」

③、④は、イエローカードと呼ばれる早期健全化基準と比較するとこれを下回っており、前年と比較すると改善しています。

【資金不足比率】

項目	21年度	20年度	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	
病院事業会計	—	—	
日吉簡易水道特別会計	—	—	20.00
農業集落排水事業特別会計	—	—	
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	—	—	

資金不足比率については、地方公営企業法適用、非適用のいずれの会計も資金不足は生じていません。